



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985~'86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット 仲よく 語ろう ロータリー

第 386 回 例会 61 年 3 月 13 日 第 392 号

出席報告

| 会員数 | 出席数 | 出席率 | 前回の修正 |
|-----|-----|--------|-------|
| 53名 | 44名 | 83.02% | 100% |

欠席者 (9名)

二見、小林、古田土、三浦、中西、大西、高橋、土屋、山中

本日のプログラム 3 月 20 日

吉利正勝氏 (大和 R.C.)
「ロータリーと四つのテスト」

次 週 予 定 3 月 27 日

亀谷志郎君 「クラブ奉仕について」

司会 SAA 鈴木久次郎君

ソングリーダー 北砂富三君

「それでこそロータリー」

《ゲスト》

迫田浩子嬢 (ロータリー財団奨学生)
長谷川哲夫君、富沢美千代嬢 (大和 R.A.C.)

《ビジター》

清水幹雄君 (東京東) 斉藤舜也君 (藤沢北)
清水 保君 (横浜旭) 加藤哲也君 (横浜瀬谷)
加藤良興君 (綾 瀬) 水野 博君 (座 間)
星 幸男君 堀 一一君 篠村啓明君
樋渡金彦君 高坂武紘君 (大和)
濱畑勝彦君 (大和田園)

《会長報告》

皆さん今日ワ、久さびさに我が家へ帰っての例会であります。プロの音楽家の前ではササガの北砂ソングリーダーもやや緊張といったところもなくありませんでしたが、音楽は人に優しさとも勇気を与えます。では会長報告にうつります。

- IGFには大勢の方のご参加を頂きましたこと、そしてまた熱海でのフォーラムにおきましてはレベルの高い討議が持てましたことを感謝致します。
- その席上で触れた事柄ですが、ジェフマーチン君の仲介によりマーメイドビーチ RC との間で 100 ドルボックス交換をしようという呼びかけがあり、先日の理事役員会において承認いたしました。後日、国際奉仕委員会から具体的な対応についてのお話があると思っておりますがよろしくお願いを致します。
- 3月8日(土)日野市民大ホールにおきまして KOKO SAKOTA PIANO RECITAL が開かれ、10数名の有志の方々と鑑賞して参りました。そして感性の高さと明快な美しい音の響きに満足して帰って参りました。
- 飯島さんに御挨拶をお願いします。

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心 1-5-40
大和 市 商 工 会 館 内
☎0462-63-7926
例会場：大和 市 大 和 南 1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会 長：上 田 利 久
会長イレクト：藤 田 重 成
副 会 長：富 沢 重 徳
幹 事：近 藤 富 士 男
会報委員：松 崎・種ヶ島・木 村

飯島順一郎君

先日は母の葬儀に際しまして、皆様より御芳志をいただきまして、又、会長はじめ皆様の会葬もいただきましてありがとうございました。母は78才でした。

会長：悲しみは時がいやしてくれるものと思いません。元気を出して下さい。

○ローターアクトの方がバザーについて御案内とお願いに参っております。皆様のお手許にアクト新聞とバザーについてのお願いというコピーがあると思いますので、ぜひ協力してあげてください。

《幹事報告》

○先日行なわれました夜間例会の会費をまだ納めてない方は早急に事務局の方へ納入して下さい。

《委員会報告》

会報委員会

委員長 松崎正実君

本日配布しました第391号の会報で、次週予告の吉利先生「ロータリーについて」を「ロータリーと4つのテスト」と変更して下さい。

ゴルフ同好会

松本三郎君

皆さんこんにちは。先日の当クラブコンペにはご苦労様でした。原田さんが見事優勝致しました。

来る4月16日(水) 四クラブ合同コンペ

4月29日(祭) 厚木基地チャリティー

5月5日(祭) 大和中クラブコンペ を

予定しておりますので多数の御参加をお願いします。

4月16日 大厚木CC 桜コース 13組(3組12名)

4月29日 厚木基地 3組12名 参加費 20,000円

5月5日 箱根湖畔CC 4組16名 参加費 6,000円

申し込み、問い合わせは松本まで。

親睦活動委員会

委員長 上村幹雄君

来る5月24・25日に一泊家族会を千葉県で行ないますが、その時に出席できそうな方の人数を把握したいので、おおよそのところ予定のたつ方は出欠表を廻しますので人数を書き入れて下さい。

《卓 話》

「財団奨学生として学んで」

迫田浩子 嬢



紹介：迫田浩子さんのプロフィールを御紹介致します。彼女は1982年(昭57)同大学を卒業し同年、国際ロータリー財団奨学生試験に合格。

1983年(昭58)西ドイツに留学、デトモルト音楽大学でフリードリッヒ・W・シュヌアー教授(同大学学長)に師事、1985年(昭60)西独ケルン市で行われたヴェストファーレン・ショパンコンクールで3位に入賞、同大学在学中、ケルン放送局、フランクフルト放送局等でのFM放送、TV出演やレコーディングを含め西独各地でソロ、デュオ、室内楽、伴奏等、幅広い活動を行い、今春デトモルト音楽大学を首席で卒業した。卒業を機に今回一時帰国し、4月に再び西ドイツへ渡って勉強・演奏活動をつづけることになっています。(辻)

私の留学先は北独のハノーヴァー市に近いデトモルトという古くて小さな町です。もっと近く、車で1時間ほどのところには「ねずみとりの男」の童話で名高いハーメルンの町があります。デトモルトはデュッセルドルフを首都とするヴェストファーレン州に属しますが、ほとんどそのはじっこで、ライン河沿いの活気あるケルンやデュッセルドルフから離れたリッペ地方という西独でも特に降雨量の多い地域にあり、好天に恵まれぬ所だけに人々の表情もかたく、とっつきにくい人柄で有名な地方だそうで、明るくて底抜けに楽しい人達の多い南ドイツで語学研修を終えて初めてこの地にやってきた時には同じドイツなのに、こうも印象の違うものかと驚かされました。しかし乍らとっつきにくくても時間をかけて大事に人間関係を

育てていくと誠実で大変心優しい人々である事がわかってきます。初めのうちは出逢った人、知り合った人でドイツ全体像を押し量ってしまったのですが、こうやって時間が経ってくると大体の共通性はわかるものの人それぞれだなぁというのが実感です。

デトモルトには古くて伝統ある西ドイツで2番目に規模の大きい音楽大学があり、そこに今は私も含めて世界各国からの音楽学生が集まっていますが、その中でもドイツ人を除くと日本人が最も多く60人ほどになるそうです。ロータリアンの方々も毎年のように日本人の奨学生が新しく訪れ、身近にはその他にも日本人留學生が多勢生活しているうえ、御自分ももう既に商用や旅行で日本を訪問なさっていたりして、時には私より詳しく日本について語られる方もあって驚かされました。趣味で盆栽をなさったり、家の中に日本的な建築様式をとり入れていたり、日本食を自然食として注目したりと、自動車やカメラ、電気製品のみならず、ふとした時に意外なところで、こちらにある日本に出逢います。また、それとは逆に、同じ東洋である中国や韓国等の国々と日本がごっちゃにされている場合も多く、そういった事柄について訂正する機会のもてた事は大変有意義だったと思います。しかしながらデトモルトのテアター（劇場）で上演されていたオペラ“蝶々夫人”の衣装が着物ではなくチョゴリであったのを眼のあたりにした時は愕然としました。

こちらのホスト・ロータリークラブは歴史が古いそうで、会員の方々も相当御年配の方々が多く、長い年月この地を見てきた方々から興味深いお話をいくつもお聞きすることができました。私のカウンセラーとしていろいろと気を配って下さった裁判官であるボッセ氏御夫妻を初め、沢山のロータリアンの方々に個人的に御家庭にお招きを受け、一緒にクリスマスを祝ったり、スポーツに興じたり、外国からのお客様をおもてなししたり、専門

であるピアノを弾いたり、お互いの国について語り合ったりと大変に楽しい時を過ごさせていただきました。また例会へ出席し、スピーチしたり、私のスポンサークラブである大和中クラブとこちらのクラブの旗を交換させていただいたり、クラブのクリスマスパーティで催しものを楽しんだり、3泊4日ほどの西独内のフランケン地方へのクラブ旅行に同伴させていただいたり、クラブという公の立場でも大変よくいただきました。

特にフランケン地方への旅行ではロータリアンの方々といろいろな古い町の市庁舎訪問や美しい中世の町並、昔の農家の博物館、お城の見学に加え、ビールの試し飲み、ワインの試し飲みにあけて、夜遅くまで歌いかつ踊りと最高に楽しいひと時を送らせていただきました。

私の師のフリードリヒ・ヴィルヘルム・シュヌアー氏はミュンヘン国際コンクール優勝歴をもつ本人自ら現役バリバリの演奏家としてドイツ国内に限らず外国での演奏会や放送番組やレコードの録音に活躍なさっている方なのですが、2つの分校をもつこのデトモルト音大の学長でもあるのでそれは多忙を極めておいでです。それにもかかわらず沢山の学生達に最低週一回ずつの個人レッスンを与えるだけでなく定期的に弟子の研究発表会などをもって下さり、熱心な教育家でもあります。

またこちらでは、日本に比べて演奏の場を多く得られるのも良い研究成果の発表となり勉強になります。今までにさせていただく事のできた演奏会は大小合わせてかなりの数になりました。そのうち新聞に批評がのるものもあり、その批評も若い人々にとって大変好意的なものなので助かります。見ず知らずの聴衆もとても温かく、演奏後はわざわざ感謝の言葉や握手をしに来てくれる人もいて、日本にいたころよりあがってしまう事が少なくなり、私にとってはまさに理想の状態です。

さらにデトモルト音大にはドイツの音大の中で

は唯一の録音技師養成の研究所があり、700人以上の席をもつ大学の大ホールや小ホール、スタジオなどで、音楽学生が、まるでレコードや放送のような本格的な録音に参加できる機会もあたえられています。

私もデュオやソロで数回ほど経験しましたが、放送局やテレビ局の仕事と違うのは気に入らなければ何度でもNGを出したり出されたりしながらカッティングもしてもらってちゃんとした演奏録音ができる確立の高いことです。

その経験が私の場合大変役に立ち、今までにフランクフルトのヘッセン州放送局やケルンの西ドイツ放送局で放送番組を録音し、テレビにも演奏出演する機会に恵まれたのですが、その際も特にまごつかずにすみました。

そういった経験や、ピアノの学生が他の楽器に比べて不足しているこの大学で沢山の室内楽や伴奏をした事も栄養になりました。大学からウーリッヒ・コッホ氏の国際ヴィオラ講習会にアシスタントピアニストとして派遣されたり、コンクールの伴奏を頼まれたりと、この方面がかなり忙しくなるのはこの大学にいと避けられないようです。もともと室内楽もソロと並行して続けていきたかったので大歓迎だったのですし、それによって有名な他の楽器の教授とも授業を通して親しくなれていいことづくめなのですが、少しソロよりそちらの方に専念しすぎていた嫌いがありました。

しかしながら、それら全ての雑多な経験がソロの方にも良い影響をおよぼしていたらしくケルンで行われたヴェストファーレン・ショパンコンクール'85年で運良く3位になることができ、嬉しいおまけができました。こちらに来て初めて受けたコンクールで賞がとれることができたのも、全ては最高に恵まれた環境で留学できているからで、その糸口を作って下さったロータリークラブの皆様のおかげに他なりません。本当に何とお礼申し上げて良いのかわからぬほどです。

シュヌアー教授の迫田浩子評

音の響きの美しさ、高い芸術的水準

迫田浩子は、彼女の秀でた演奏技術をもって常に音楽的創造へ奉仕している、非常に卓抜したピアニストである。

彼女の演奏は、音の響きの美しさと明確さ、そして生き生きとしたアーティキュレーションと、自然に呼吸されたフレージング、さらには様式上の洗練とさまざまな表現力をひとつに統合したものである。

このように、彼女の演奏は高い芸術的水準を成すにいたっている。

デトモルト、1986.1.3

フリードリッヒ・ヴィルヘルム・シュヌアー

会長：音楽は人が言葉ではいえない事柄を表現する（ビクトリ・ユーゴ）といわれております。今回はこわいおじさん達に囲まれてのスピーチ、西ドイツの生活が手にとるようにわかり、ご本人の人柄と努力、そして生れついでに音楽性が見事に調和し誠に見事であります。貴女のような素直な音楽生を奨学生としてお世話する機会のありました我々は大変嬉しく思っております。ますます芸術性を高めて行くことを信じております。なお彼女は3月21日に日本人の声楽家とご結婚なさるそうです。おめでとうございませぬ。これからの活躍をお祈りしております。ありがとうございます。

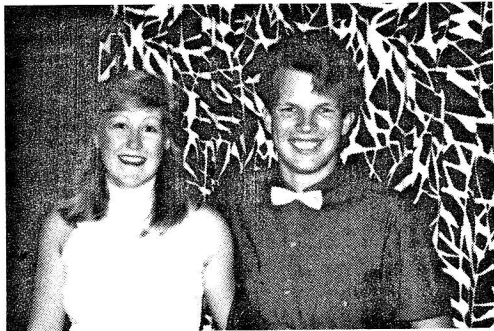
おわび

再三にわたる録音ミスにより卓話内容に多少違いがあると思います。御本人の書かれた帰国報告を基にしております。

会報委員会

ジェフとガールフレンド

彼女は17才で間もなくロータリーではない交換留學生として来日、大阪に1年間滞在するそうです。



最近日本人のオーストラリア熱が高まっており観光客が多く、日本人のガイドは多数いるがジェフのようにオーストラリア人で日本語の出来るガイドは、彼の住んでいるサーファーズパラダイスという町には6人しかいないそうです。ジェフもその1人として大変重宝がられ、ホテル付の通訳もやっているとのこと。

そのため、日本にいた時よりもずっときれいな日本語を話すようになっているそうです。普通、彼の年齢では時給5ドルだそうです、ジェフは12ドルもらっているそうです。

《お祝》 おめでとうございます！

| | | |
|---------|-------------|-----------|
| お誕生日 | 児玉 清君 | (3月1日) |
| | 木村誠二君 | (3月3日) |
| 御夫人お誕生日 | 古木勝治君 磯子夫人 | (2月17日) |
| | 加藤好秋君 敏子夫人 | (3月3日) |
| | 細野順造君 トシ子夫人 | (3月14日) |
| 結婚記念日 | 岡本重之君 | (3月4日) |
| | 細野順造君 | (3月14日) |
| 創業記念日 | 北砂富三君 | (3月1日) |
| | 芦田敬治君 | (3月15日) |
| 入会記念日 | 岩田一夫君 | (60年3月7日) |
| | 竹本正俊君 | (60年3月7日) |

【読売新聞日曜版】連載中

吉森みき男氏原作『ライパチくん』より



高橋さん、いつも御苦勞をおかけしております。私も『会報で苦勞してます』から『会報に努力してます』と胸を張って答えてみたい。(松)

《スマイルボックス》

委員長 古川 巖 君

清水幹雄君（東京東） お世話になります。
清水 保君（横浜旭） お世話になります。
齊藤舜也君（藤沢北） お世話になります。
加藤良興君（綾瀬） たびたびお世話になります。
星 幸男君（大和） 本日もよろしく。
樋渡金彦君（大和） 久しぶりでおじゃまします。よろしく。
篠村啓明君（大和） 久しぶりにお世話になります。
高坂武紘君（大和） 春です。本日もよろしく
お願い致します。
堀 一一君（大和） 御世話になります。
水野 博君（座間） 今日天気もよく、ひさし
ぶりに大和中クラブに来ました。よろしく。
浜畑勝彦君（大和田園） 今日もお世話になりま
す。よろしくお願ひします。
辻 国明君 迫田さん・・・心技共、大きく成
長され大変にうれしく思います。今後もすば
らしい調べの人生を送って下さい。
後藤定毅君（国際奉仕委員会） 過日8日の迫田
さんのピアノリサイタルには大勢の方におい
ていただき、ありがとうございました。
加藤好秋君 妻の誕生日を祝って頂き、ありが
とうございました。
岩田一夫君 1年間色々御指導有難うございま
した。やっと1年、という感じです。今後共
よろしくお願ひ致します。
細野順造君 女房の誕生祝ありがとうございます。
結婚祝もありがとうございます。
古木勝治君 2月27日、市子連研修会に於て、
上田会長より立派な講演をいただき盛会裡に
終了しました事に感謝し、社会奉仕委員の担
当としてスマイルします。
亀谷志郎君 あたみのクラブ協議会。会長はじ

め各委員の皆様御苦労でした。

寺田伍六君 エラク休みまして、すみません。
上田利久君 IGFには多数の方のご出席を頂
きましたこと大変嬉しく思っております。
また過ぎる季節を美しく写し出す街・熱海・
においてくつろぎの一時を持てましたこと、
幹事の近藤さん、親睦委員会の上村さん前原
さん、有難うございました。
原田 穆君 パートナー、コーチさん等多くの
人のおかげで奇蹟のないことが奇蹟というこ
とを体験しました。ローハンデに耐えるよう
精進します。
松本三郎君 先日のクラブコンペには多数の参
加ありがとうございました。次期は5月5日
（祭）箱根湖畔で行ないますので、前回同様多
数の参加をお待ちしております。
芦田敬治君 創業記念日を祝っていただきあり
がとうございます。今後もボツボツやってい
きます。
鈴木久次郎君 先日の夜間例会に欠席してゴメ
ンネ…。又、今日は弁当の数がピッタリです。
高橋事務長に感謝して。
後藤定毅君 ①「原田 above 後藤」か「原田
and 後藤」かいずれにせよゴルフコンペでの
原田さんの見事な初優勝の祝福と後藤時代の
到来を内祝してスマイル。
②岩田さんありがとうございました。
それに加えて私にグロス負けまでしていただ
いて……。
染矢信行君 先に退会の際には皆様にご挨拶も
出来ず、申し訳ありませんでした。そんな
私に退会後も富沢さんに御引立をいただきま
したことに感謝してスマイルさせていただきます。
飯島順一郎君 先般の亡母葬儀に際しましての
皆様のご芳志並びに会長始め会員のご会葬を
いただき、ありがとうございました。